

◆好調カテゴリ別 金額市場規模前年比一覧

主食		
前月よりも伸長し、前年比103.2%と前年を上回った。ただし、好調カテゴリの多くは、値上げの影響で販売金額を伸ばしていることから、販売数量は伸び悩んでいると見て取れる。 「米飯類」: カレーご飯タイプの商品が好調。栄養バランスを訴求する新商品の寄与も見られた。 「食パン、袋インスタント麺、スパゲティ」: 販売金額は増加したものの、価格上昇によるもので、販売数量は減少。 「生麺・ゆで麺」: 価格上昇の影響のほか、前年より気温が低かったことでうどんの需要が伸長。		
カテゴリ	金額前年比 2022年10月	前月差 2022年10月
主食 TOTAL	103.2	2.2
米		
米飯類	108.8	0.5
食パン	108.8	4.5
菓子パン・調理パン	101.3	-1.5
シリアル類		
袋インスタント麺	105.7	-2.3
カップインスタント麺	104.6	3.1
乾麺		
生麺・ゆで麺	105.8	7.5
スパゲティ	111.3	5.0
マカロニ類	103.8	8.3
小麦粉	100.3	8.4
てんぷら粉		
唐揚げ粉	102.0	2.6
パン粉		
プレミックス	105.5	10.3

調味料		
前月よりも伸長し、前年比102.6%と前年を上回った。ただし、主食同様、値上げによる影響が大きいと見られる。 「つゆ・煮物料理の素」: 前年よりも気温が低かったため、鍋つゆやおでんの素などが伸長。 「サラダ油・天ぷら油」: 値上げの影響で販売金額は伸びているものの、販売容量は落ち込んだ。とりわけ、キャノーラ油は値上げ幅が大きく、販売容量の落ち込みが続いている。		
カテゴリ	金額前年比 2022年10月	前月差 2022年10月
調味料 TOTAL	102.6	2.9
醤油	100.8	-1.7
味噌		
食塩		
料理酒		
砂糖	103.9	2.3
低カロリー甘味料	100.1	9.5
シロップ類	104.4	2.4
蜂蜜	103.0	11.6
ソース	105.4	3.0
ケチャップ	106.5	4.1
マヨネーズ	105.4	-10.8
ドレッシング		
香辛料	101.5	6.1
エッセンス類		
焼肉しゃぶしゃぶのたれ	101.1	4.8
食酢		
ほん酢		
本みりん	100.8	-0.2
みりん風調味料		
風味調味料	100.0	6.8
削り節		
煮干し	101.0	3.8
わかめ・こんぶ類	101.0	9.0
つゆ・煮物料理の素	106.5	10.4
サラダ油・天ぷら油	117.5	-1.8
ゴマ油	102.8	-1.2
バター		
マーガリン類	104.8	8.3
チーズ	102.7	4.8
ジャム・マmareード	101.0	2.2

※網掛け
前年比 105%超: 105.5%

加工食品①		
前月よりも伸長し、前年比105.0%と前年を上回った。 「春雨・くず切り」: 気温が低かったことで、鍋用の需要が高まったと推察される。 「冷凍農産」: 価格上昇の影響もあるが、フライドポテトやブロッコリーでは販売数量の伸びも見られた。 「冷凍調理」: 価格上昇の影響もあるが、気温が低かったためか、うどんやラーメンで販売数量の伸びも見られた。		
カテゴリ	金額前年比 2022年10月	前月差 2022年10月
加工食品① TOTAL	105.0	4.4
春雨・くず切り	109.9	15.2
こうや豆腐	107.2	9.4
海苔		
ふりかけ	105.0	-1.6
お茶漬の素	104.7	3.4
まぜご飯の素		
カレー	102.4	1.7
シチュー	104.6	16.6
パスタソース	103.4	3.4
シチューベース		
メニュー専用料理の素		
スープ類	102.5	6.1
味噌汁・吸物類	102.9	4.4
調理用スープ	101.9	8.3
冷凍水産	101.1	2.5
冷凍農産	111.5	9.3
冷凍調理	108.6	4.6

加工食品②		
前月よりも伸長し、前年比102.4%と前年を上回った。 「和風食品」: 鯛焼きの好調が続くほか、気温が低かったためか、おでんも大きく伸長。 「魚肉ソーセージ」: 値上げの影響により販売金額が増加したと見て取れる。		
カテゴリ	金額前年比 2022年10月	前月差 2022年10月
加工食品② TOTAL	102.4	3.4
魚介類缶詰		
野菜缶詰	101.1	6.5
フルーツ缶詰		
畜肉缶詰		
パウチ入り食材	105.1	5.5
和風食品	111.2	7.3
洋風食品	102.5	4.1
中華風食品		
畜肉ハム	100.6	-1.1
畜肉ソーセージ	103.1	4.5
魚肉ソーセージ	109.1	8.4
焼豚	106.9	2.8
ベーコン	102.4	2.6

加工食品③		
前月よりも伸長し、前年比105.1%と前年を上回った。ちくわ、揚げ物、はんぺんなどが伸びており、気温が低かったことで鍋や煮物用の需要が高まったと考えられる。		
カテゴリ	金額前年比 2022年10月	前月差 2022年10月
加工食品③ TOTAL	105.1	6.9
かまぼこ	106.3	1.3
ちくわ	111.8	8.9
はんぺん	105.3	14.6
揚げ物	110.3	17.6
納豆		
煮豆	102.2	5.7
佃煮	101.6	-1.7
もずく・めかぶ	103.3	1.0
豆腐類	104.9	5.8

菓子		
前月よりも伸長し、前年比103.9%と前年を上回った。 「ビスケット&クラッカー」: 値上げの影響もあるが、チョコレート風味のバタイブなどの新商品が好調で伸長したと見られる。 「スナック」: 値上げの影響で販売金額が伸長したと見て取れる。 「栄養バランス食品」: 今年の春に発売された新商品の好調が続いていることに加えて、外出増による小腹満たし需要の拡大も影響したと考えられる。		
カテゴリ	金額前年比 2022年10月	前月差 2022年10月
菓子 TOTAL	103.9	3.5
チョコレート	100.7	5.8
キャラメル	106.6	7.6
キャンディ	107.2	-0.7
チュウインガム		
ビスケット&クラッカー	107.2	8.1
スナック	110.9	5.2
煎餅・あられ	101.3	7.1
玩具メーカー菓子	100.5	-19.7
栄養バランス食品	111.5	-2.0

嗜好品		
前月よりも落ち込み、前年比98.1%と前年を下回った。 「レギュラーコーヒー」: 値上げの影響があるなか、気温の低下により需要も底堅かったため伸長したと見て取れる。 「ココア」: 気温が低かったため、需要が拡大したと推察。		
カテゴリ	金額前年比 2022年10月	前月差 2022年10月
嗜好品 TOTAL	98.1	-3.8
アイスクリーム		
デザート類		
ペビーフード	105.1	-5.2
インスタントクリーム		
フレッシュクリーム	101.6	5.8
ホイップクリーム	101.1	9.1
インスタントコーヒー	103.2	7.4
レギュラーコーヒー	115.2	9.2
紅茶	104.8	10.2
ココア	109.0	14.9
日本茶		
麦茶		
中国茶		

飲料		
前月よりも落ち込み、前年比98.7%と前年を下回った。気温が低かったため、需要が縮小したと見られる。 「乳酸菌飲料」: ストレス緩和等の効果を訴求する、機能的表示食品の商品の好調が続く。 「果汁飲料」: 気温の低下で熱中症対策ドリンクの需要が縮小したため前月ほどの勢いはないものの、新商品の寄与により好調を維持。 「乳酸飲料」: 異なるブランドのコラボ新商品が好調で伸長した。		
カテゴリ	金額前年比 2022年10月	前月差 2022年10月
飲料 TOTAL	98.7	-4.5
牛乳	101.6	-0.2
ヨーグルト		
乳酸菌飲料	142.5	-5.8
豆乳		
100%ジュース		
果汁飲料	108.0	-26.4
トマトジュース	104.9	1.7
野菜ジュース		
コーラ		
サイダー		
炭酸飲料		
コーヒードリンク		
紅茶ドリンク	100.6	-10.5
液体茶		
スポーツドリンク		
美容・健康ドリンク		
栄養ドリンク	101.3	-8.8
ミネラルウォーター類	104.9	-9.8
乳酸飲料	106.2	7.4

ペット		
前月よりも伸長し、前年比105.1%と前年を上回った。各種ペットフード・用品について、値上げの影響により販売金額は伸びているものの、販売数量では苦戦も見られた。		
カテゴリ	金額前年比 2022年10月	前月差 2022年10月
ペット TOTAL	105.1	2.3
ドッグフード	103.3	1.4
キャットフード	109.6	2.3
ペット用品	104.4	2.0

アルコール		
前月よりも落ち込み、前年比95.3%と前年を下回った。今月からビール類などが値上げされており、前月の値上げ前の駆け込み需要の反動で落ち込んだと見て取れる。ウイスキーは、販売金額は伸びたものの値上げの影響で、販売数量では減少が見られた。		
カテゴリ	金額前年比 2022年10月	前月差 2022年10月
アルコール TOTAL	95.3	-7.9
ビール類		
ウイスキー	104.0	-1.3
ワイン		
日本酒		
焼酎		

日用雑貨		
前月よりも落ち込んだものの、前年比101.4%と前年を上回った。 「洗濯用洗剤」: 前月ほどの勢いはないものの、抗菌・抗ウイルスなど洗浄力を訴求する商品が好調。 「カビ防止剤」: 「お風呂場に置くだけで防カビ対策ができる」と訴求する新商品の好調が続く。 「アルミホイル」: 値上げの影響で伸長したと見て取れる。 「使い捨てカイロ」: 気温が低かったため、需要が高まったと推察。		
カテゴリ	金額前年比 2022年10月	前月差 2022年10月
日用雑貨 TOTAL	101.4	-1.0
歯ブラシ	100.9	-0.7
歯磨き	101.8	1.9
マウスウォッシュ	102.5	2.0
歯菌用剤	100.2	1.4
洗濯用洗剤	106.7	-4.5
中性洗剤	100.5	1.6
漂白剤	102.4	-1.8
柔軟剤	101.1	-1.3
台所用洗剤		
住居用クリーナー	104.0	7.8
トイレ用クリーナー		
バスクリーナー	102.6	7.5
パイプクリーナー		
家庭用手袋	100.4	1.1
化学雑巾		
たわし・スポンジ	100.5	4.3
水切り袋	103.4	2.1
殺虫剤		
防虫剤	100.4	8.6
カビ防止剤	122.9	-2.2
芳香・消臭剤		
トイレタンク用洗浄芳香剤		
除湿剤	104.3	3.6
ラッピングフィルム	100.1	-4.7
アルミホイル	117.1	6.9
食品包装用品	105.6	2.3
アルミガスマット		
ティッシュペーパー	101.5	-4.4
トイレトペーパー	101.9	-9.0
ペーパータオル	105.6	-3.0
ぬれティッシュ	102.1	1.4
使い捨て紙クリーナー		
紙おむつ	104.2	6.7
大人紙おむつ	106.2	0.1
生理用品	102.7	-1.0
絆創膏	100.3	-5.1
使い捨てカイロ	117.4	16.4
綿棒		

化粧品		
前月よりも伸長し、前年比108.5%と前年を上回った。外出増の影響を受け、すべてのカテゴリで伸長が見られた。とりわけメイクアップ化粧品が好調。口紅は、コロナ前の2019年の水準までは回復していないが、新商品の寄与もあり大幅伸長。 基礎化粧品の一部のカテゴリでは、訪日外国人の増加によるインバウンド需要の回復の動きも見られた。		
カテゴリ	金額前年比 2022年10月	前月差 2022年10月
化粧品 TOTAL	108.5	2.3
クレンジング	101.4	1.1
洗顔クリーム	111.7	2.4
化粧水	103.0	4.4
乳液	107.9	1.7
栄養クリーム	108.9	8.2
パック	119.3	7.9
美容液	105.6	13.1
化粧下地	100.1	1.9
ファンデーション	104.8	-2.4
おしろい	118.0	2.9
口紅	117.0	22.7
眉目料	111.4	-1.6
マニキュア	102.3	-5.3

医薬品		
前月よりも伸長し、前年比107.0%と前年を上回った。前年と比べると新型コロナウイルスの感染者数が高止まりしていることから、口腔用薬、鎮咳去痰剤、総合感冒薬と風邪関連薬が大きく伸長。鼻炎治療剤も好調で、前年よりも秋花粉の飛散量が多かったためと推察。 整腸薬や外用鎮痛消炎剤は、インバウンド需要の回復により伸長したと見られる。		
カテゴリ	金額前年比 2022年10月	前月差 2022年10月
医薬品 TOTAL	107.0	4.2
コンタクト用剤	104.2	-1.3
マスク	107.4	6.4
ミニドリンク剤	107.0	-3.5
漢方薬	103.5	2.9
総合感冒薬	130.1	15.7
鼻炎治療剤	116.1	11.2
解熱鎮痛剤		
鎮咳去痰剤	134.2	8.1
口腔用薬	136.7	0.7
胃腸薬	105.2	-0.2
整腸薬	113.0	12.1
外用鎮痛消炎剤	103.7	3.6
皮膚用薬		
目薬	103.2	0.5
健康食品	104.0	1.6

この資料は当該データの公開時点での集計であり、最新データと異なることがあります。
利用は、原則貴社内のみとし、第三者への開示が必要な場合は、弊社が定める「パネルデータレポート第三者開示・利用基準」に従います。
また、弊社に起因しない事由により生じた内容の瑕疵についての訂正・取替えに関する義務は負いかねます。